

名寄・下川・美深地域の基本計画の概要

計画のポイント

- ・豊富な農林業資源を活用し、名寄市立大学や地元国立大学に立地する研究機関との連携を図りながら、健康に着目した医薬品や健康食品、森林療法などの健康関連産業の集積を目指す。
- ・これまで取り組んできた森林資源の活用や持続的な森林整備等の知見を活用し、バイオマスエネルギーの活用や研究等、環境・新エネルギー関連産業の集積を目指す。
- ・地域の農林業資源や観光資源を活用し、食料品製造業、木材・木製品製造業、観光業といった地域資源関連産業の集積を目指す。

1. 集積区域 名寄市、下川町、美深町の1市2町

2. 集積業種 「健康関連産業」、「環境・新エネルギー関連産業」、「地域資源関連産業」

3. 集積区域における集積業種に係る成果目標 (目標年次：平成28年度)

○付加価値額増加額	6億円	○新規立地件数	4件
○製造品出荷額等増加額	12億円	○新規雇用数	29人

4. 目標に向けた事業環境整備の内容

- 企業誘致
 - ・企業立地広報紙の作成・配布、首都圏での説明会等の開催、企業訪問などの企業立地プロモーション活動の展開
- 人材育成
 - ・地元教育機関などと連携した健康関連産業の人材育成
 - ・技術力向上に向けた職業訓練や資格取得に向けた講座など、地域産業に役立つ人材の育成
- 技術支援
 - ・食品関連産業の技術力向上と製品の高付加価値化など、技術講習会や移動食品加工研究センターの開催
 - ・地元教育機関などとの産学官連携による新製品開発等の支援
- 優遇措置
 - ・北海道産業振興条例、1市2町の優遇措置等の活用

健康関連産業

- 農林業資源と地元研究資源との連携で、健康に着目した医薬品や健康食品の開発、また、森林療法などの関連産業の集積促進

環境・新エネルギー関連産業

- 地域の森林資源から発生するバイオマスエネルギーを活用する産業や研究機関などの集積促進

地域資源関連産業

- 農産物や森林資源を活用した食料品製造業や木材・木製品製造業等や豊富な観光資源を活用した宿泊業などの関連産業の集積促進

